チーム YELLOW

- 伊藤 瑛祐 (室蘭工大)
- 福田 航平 (兵庫県立大)
- 松井 貴丸 (電通大)



新しい映画の形

Team. yellow



あなたの本音は?



なぜ感情情報が必要なのか

動画サイトでは閲覧数に応じて視聴者の場面ごとの興味を把握



統計情報をもとに改善

「YouTubeアナリティクスによる動画分析事例と見方と画像26枚」http://www.kagua.biz/seisaku/movie/suujikoukai-youtubeanalytics.html(2018.11.30)



映画では観た後の総合的な定性的評価のみ

閲覧数の増減は把握できないため、 各場面でフィードバックの取得が困難



感情情報の定量的評価



感情分析の活用

◆ 応用例:映画館

感情の値によって新しい体感型映画の演出が可能 ex. 観客の感情の起伏に応じて振動の大きさやタイミングを調整 ▶フィードバックを分析して次に活かす

◆ 実現方法



呼吸•心拍計測

「mi Radar」 ANALOG DEVICES・サクラテック株式会社様



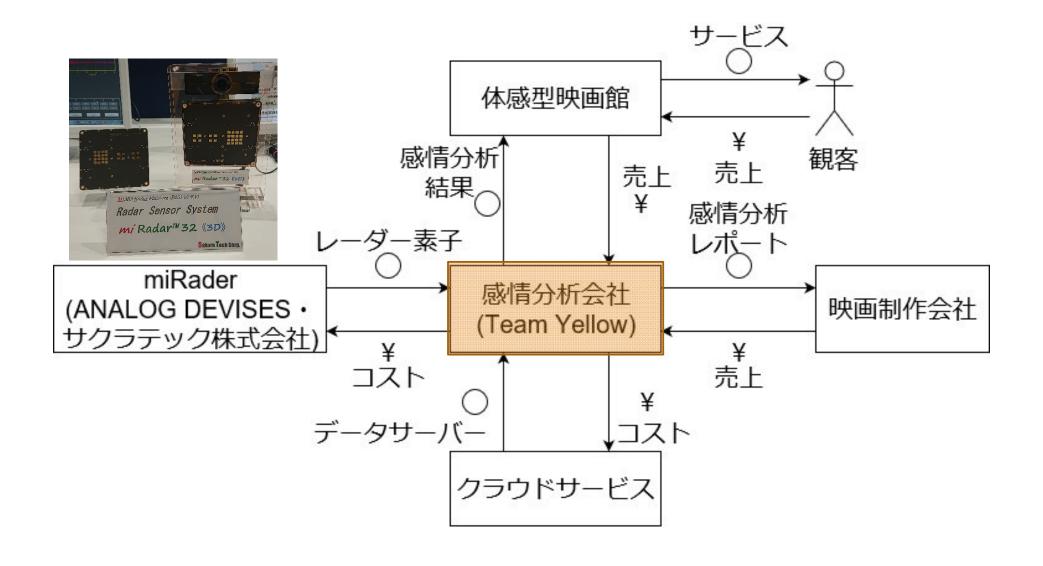
- ・複数目標に対して検知可能
- •小型軽量

5G (大容量高速通信) ATR+KDDI 様

- ・既存のものに大量につけるためには無線が望ましい
- 多数同時接続が可能



ビジネスプラン



その他の応用

映画としての応用

計測した感情(心拍数)の値に応じて作品自体の展開が変わる物を制作することができれば、より新しい形になる.

その他の応用

ライブなどに使用される会場に設置 → 同じく各場面での 盛り上がりのフィードバックが行える.



ゲームセンター等の1つの席に1人~数人座るものに対しても同様のフィードバックが行える.

